

新・海部病院の基本設計について

1 設計のコンセプト

リバーシブルな機能を備えた病院として、「高台移転の全国モデル」を目指す。

- 平常時 → 「県南地域の医療の拠点」
- 災害時 → 「県南地域の新たな防災拠点」

2 新病院の概要

- (1) 所在地 海部郡牟岐町大字中村字杉谷
- (2) 敷地面積 約 9,000㎡（海拔約 15.6m）
- (3) 構造 鉄筋コンクリート造、免震構造、屋上ヘリポート（自重 10t）
- (4) 階数 6階建て
- (5) 延べ面積 10,550㎡（現病院 約 5,600㎡ → 約 1.9倍）
- (6) 病床数 110床（現病院と同規模）
- (7) 駐車場 平面駐車場と併せて立体駐車場を整備

3 新病院の主な特徴

(1) 平常時

① 快適な療養環境

- ・十分な1床あたりの面積を確保 → 個室、4床室とも現在の約 1.5倍
- ・個室を大幅に増加 → 現状 18床（17%）から 30床（28%）

② 救急医療の強化

- ・ドクターヘリが離発着できる病院屋上ヘリポートを整備

③ 若手医師の養成拠点（地域医療研究センター）

- ・将来の地域医療を担う若手医師の「研究・研修・実習」を支援

(2) 災害時

① ライフライン対策

- ・非常用自家発電燃料と飲料水を 7日分以上確保
- ・太陽光発電、蓄電設備を整備

② 災害医療の提供

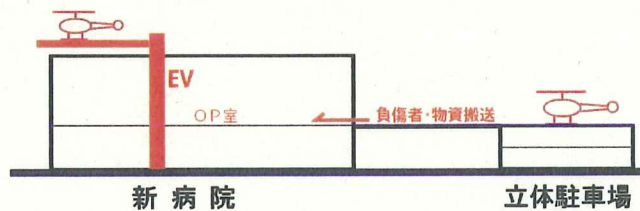
- ・4階の病棟は「災害病棟」として運用
- ・重症個室を「ICU」として使えるように整備

③ 搬送能力の向上

- ・病院屋上ヘリポートに加え、立体駐車場屋上にサブのヘリポート（自重 12t）を整備

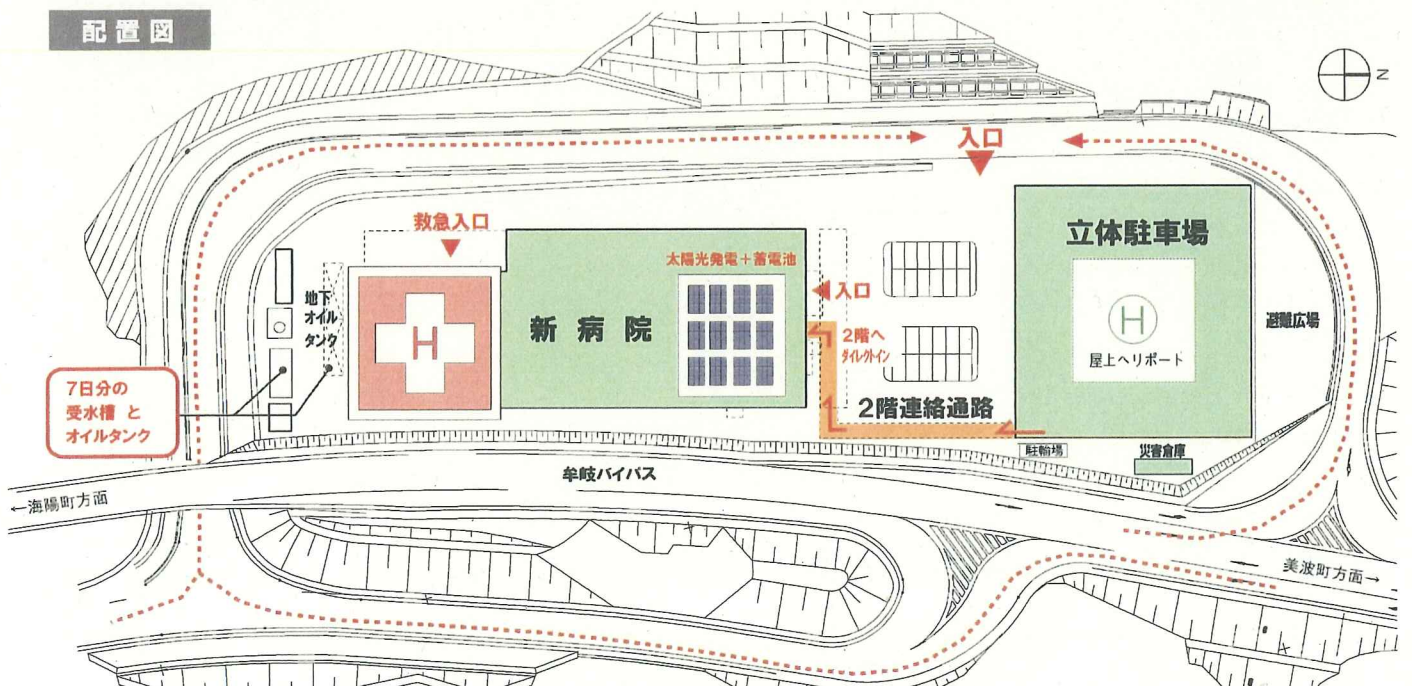


患者搬送

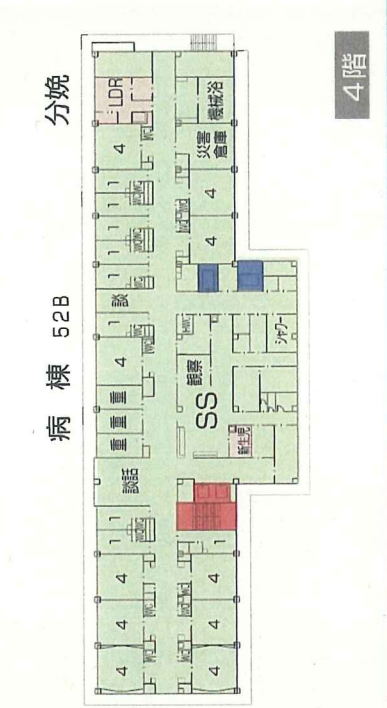
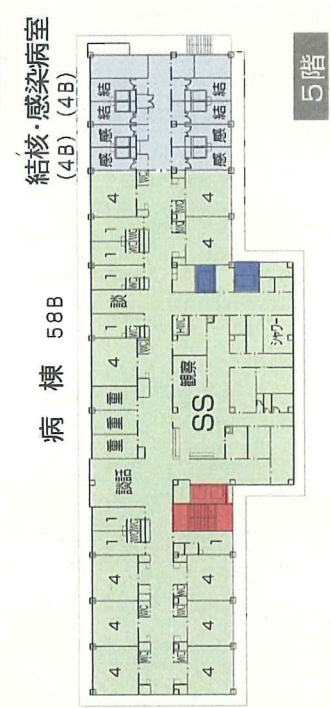
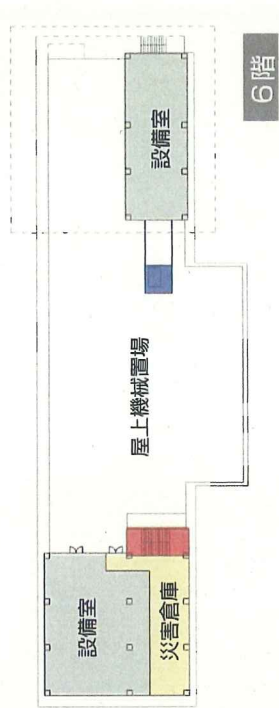
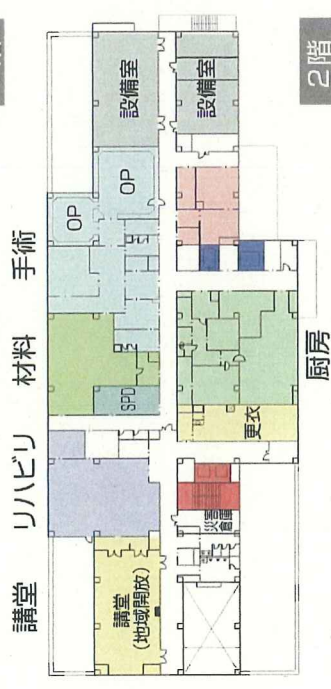
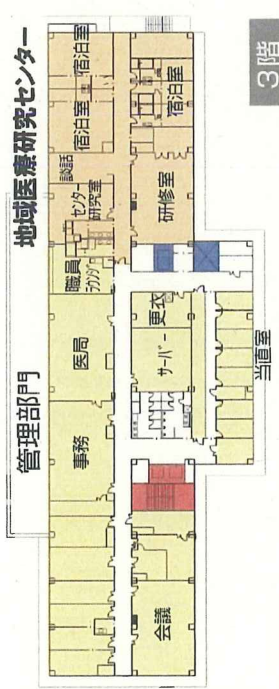
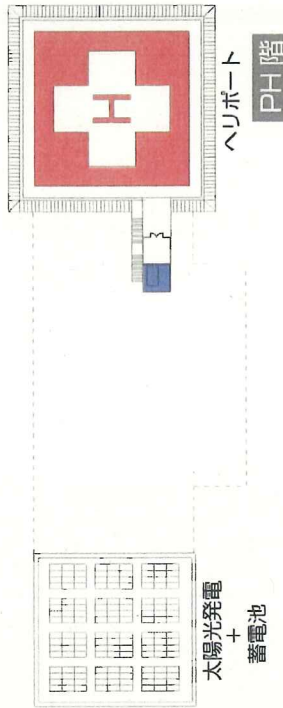
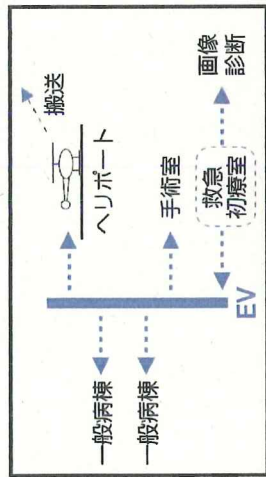


負傷者・物資搬送

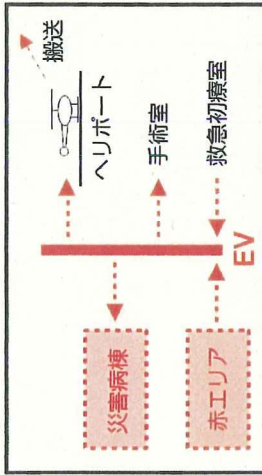
配置図



平常時

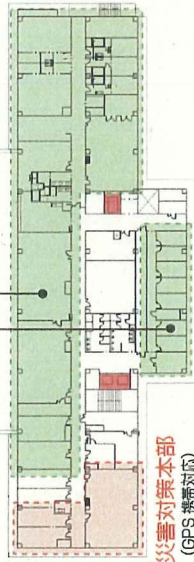


災害時



災害時のダイレクトな緊急搬送

スタッフ待機・宿泊



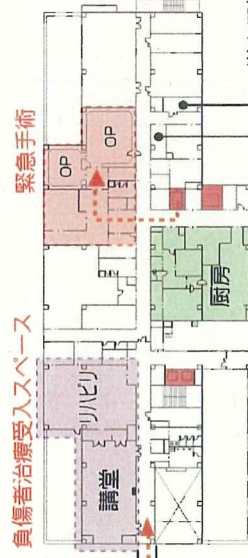
災害対策本部
スタッフ待機

3階

立体駐車場より

【連絡通路】

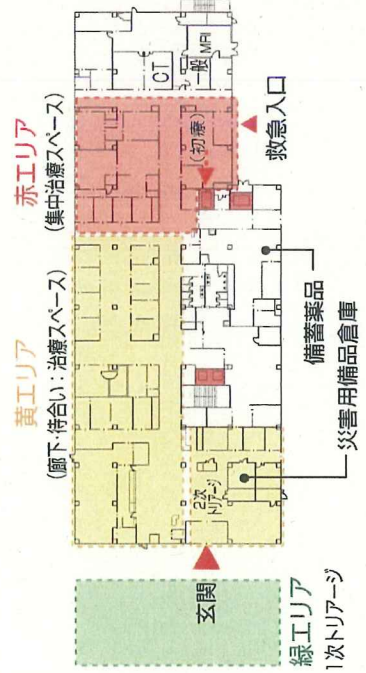
負傷者搬送
物資搬送



治療・受入れ
緊急手術
非常食調理

災害用備品倉庫

2階



緊急治療フロア

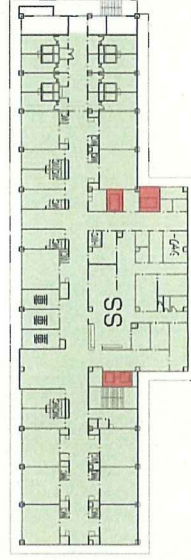
1階



PH階



6階



入院患者病棟
(110人以上)

入院患者を5階に集中配置

5階



災害病棟
(110人以上)

4階を災害病棟として
負傷者を集中管理

4階

※EVはすべて停電時も稼働する非常発電回路とし、地震時停止するリスクを低減